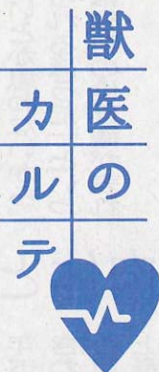


土曜

SATURDAY

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp



47



となみペット
クリニック院長
前田 洋行

(砺波市高道)

全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。コロナウイルスの名前の由来は、ウイルス粒子の周りにある突起が王冠に似ていることから、ラテン語にちなんで名付けられました。

コロナウイルスにはいろいろな種類があり、新型コロナウイルスや、少し前、猛威を振ったSARS（重症急性呼吸器症候群）やMERS（中東呼吸器症候群）も含まれます。

さて、今回はイヌやネコのコロナウイルスについて述べたいと思

イヌ・ネコのコロナウイルス



感受性・症状に違い

います。

まず、現在流行している新型コロナウイルスとイヌやネコの関係ですが、最新の研究では、感染した人と濃厚接触した場合、感染の可能性は

否定できないとしています。

イヌは新型コロナウイルスの感受性がほとんどありません。それに対し、ネコは感受性があり、呼吸器ではなく、消化器に症状が出ます。ネ

コからネコへの感染があったとされますが、ネコから人に感染したという報告はありません。ただこれに安心することなく、十分な注意を払うに越したことはありません。

イヌのコロナウイルスは、単独でひどい症状を示すことはありませんが、パルボウイルスに同時感染すると、より悪化します。また子犬はコロナ単独の感染でも重い症状になることがあり、場合によ

ては死に至ることがあります。

ネコのコロナウイルスは、二つの型があります。ネコ腸コロナウイルスとネコ伝染性腹膜炎（FIP）ウイルスです。

ネコ腸コロナは病原性が弱く、無症状か、軽い下痢を起こすぐらいです。ネコの多くが感染していると考えられています。

FIPの症状は二つのタイプがあり、ドライ型（内臓に肉芽腫を作る）とウェット型（胸水や腹水がたまる）があります。いずれも有効な治療法はなく、ほとんどが命を落とします。新たにFIPウイルスに感染して発症するのではなく、腸コロナが一部のネコの体内で、何らかの原因により、病原性の高いウイルスに変異するためと考えられています。

FIPにかかってしまったネコは本当に運が悪かった、としか言いえない悲しい現状があります。

ネコにもコロナウイルス感染症がある